

有機農業の日

有機農業やオーガニックライフへの関心と理解が深まり、国産有機農産物の生産と消費が広がることを目指し、12月8日を有機の日と定め「オーガニックキャンペーン」を展開しています

オーガニック交流会

私たち『有機農業の日』の動きに賛同し、2016年12月17日『有機農業をめぐる新たな動き』と題しこよべまちづくり会館にて、オーガニック交流会を開催しました。その模様をレポートします！



DVD「ミツバチからのメッセージ」で農薬散布後の生きものたちの状況やネオニコチノイドについて学びました。



牛尾理事長からの挨拶。神崎郡でも、虫が減っていて、原因はネオニコチノイドではないかと危惧されています。



福井佑実子さんより昨年2月にドイツで開催された国際オーガニックフェアの模様やオーガニック 3.0についての報告。



有機 JAS マーク付き食品の袋の展示です。『有機もやし』の袋もあります。



有機 JAS マークについての展示で、理解を広めます。



お弁当は神戸市東灘区の『むずび食堂』さんにお願ひしました。好評でした！



日本有機農業研究会理事の久保田裕子氏をお招きし、世界的な提携の流れについてお話をいただきました。



その後の交流会には久保田先生にも参加して頂き、各テーブルに分かれて意見交換をしました。



有機 JAS マーク付きのチョコレートの試食をしました。JAS マークのついたローチョコもあります。



その他、おつけものや炊きたての大豆ごはんなど。



有機 JAS マーク付きのお煎餅、小豆菓子、珈琲、お茶も用意しました。

有機農業の日ミニ知識 『なぜ12月8日？』

2006年12月8日、国会において市民の手による有機農業推進法が成立。農業者が有機農業に取り組めるよう政府と自治体に支援を義務付け、有機農業の推進に関する基本理念を定めた。この日を記念日とし、オーガニック食品を贈る、食べる、愛でる日となるようにとの願いがこめられています。



生産者さん、消費者、有機 JAS の検査員、お店を営んでいる方など、さまざまな意見の発表がありました。



最年少は高校生！初めてこういう会に参加した方も多く、これからの希望を感じました。



最後まで残った方々で、記念撮影です。ご参加いただきありがとうございました。

アンケートより

Q1: 有機農業・有機食品について一言！

- ・生きる力、生命力、元気の出る食材
- ・高い！
- ・是非、広がり、盛り上がってほしいです！！
- ・多くの人の意識の中に、定着しつつあると思います。
40年以上の運動の賜物でもあるのではないのでしょうか。
そして、次の段階として、意識から行動に移す人が増える（実際に食べる、生産者を支え続ける）ことを願っています。
まだ少しは頑張れるかもと思っているのですが。
- ・農薬、化学肥料を使わない農業を目指し、頑張りたいと思います。
- ・有機の食材などが増えてほしい。

Q2: 感想をお願いします

- ・とにかく楽しく、たくさんの交流ができて良かったです。ありがとうございました。
- ・いろんな方と出会えて良かったです。
- ・内容がたくさんで主流がわかりにくい。
- ・素敵なお縁をありがとうございました。
- ・もう少し全体と交流できる工夫が欲しい。
- ・いろいろ知れて良かったです。ありがとうございました。
- ・PGSについて初めて聞き興味を持ちました。
- ・新しい顔が多くて豊かな会になったと思います。
- ・色々と勉強になりました。お弁当も良かったです。

Q3: 次回はどのような交流会を希望されますか？

- ・参加者の活動状況を何らかの形でPRできる場を設ける。
- ・生産者と消費者の積極的な交流会
- ・オーガニックならOK！
- ・消費者の方との交流会
- ・新しい人たちにコンタクトできる方法をフルに活用してください。
- ・生産者の話や、栽培のコツなど技術的なことを聞きたいです。

交流会にご参加いただいた皆様、アンケートにご協力いただいた皆様たいへんありがとうございました。これらの意見を参考に、次回に繋げていきたいと思ひます。尚、お茶は(有)浅田茶場園、珈琲は(株)ウエシマコーヒーフーズの提供でした。ありがとうございました。